

とちぎのこと知ってる？"県の4つのシンボル"

けんちょう

★ 県鳥 「オオルリ」 ってどんな鳥？



オス

特徴

ヒタキ科オオルリ属（全長約16cm）
日本三大鳴鳥の1つ（他：ウグイス、コマドリ）
日本へは夏鳥として渡来し冬季は東南アジアで越冬する。
オスは背中から尾まで鮮やかな瑠璃色、メスは茶褐色。
ピリーリー、ポィヒーリー、ピールリ、ジィジィと美しい
鳴き声。



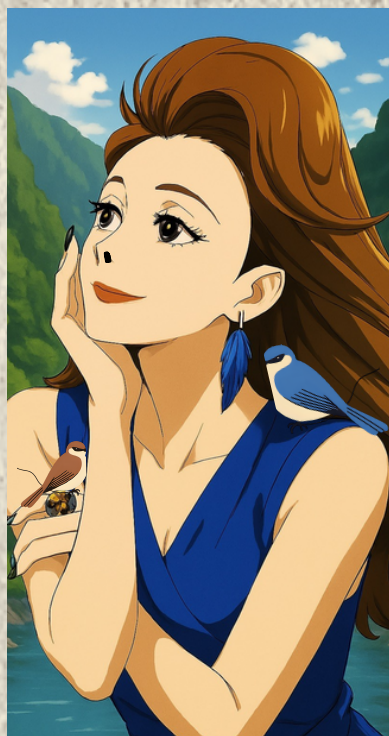
メス

県のシンボル

野生鳥獣保護の象徴として1964年1月17日に制定
瑠璃色の美と清らかな歌声が栃木の自然を象徴。
5月から10月頃まで日光や塩原や那須にすむ。

しゃべるシンボル登場！！

「母の感性で、心の声を聴く」共感する青い歌姫



◆名前：小 柳 ルリコ

♥性格：情熱と気品を併せ持つ、感受性豊かな「母性系アーティスト」。
3人の子を育て上げた肝っ玉かあちゃんでもある。

💬口ぐせ：「わたし、待つのは慣れてるの。」
「子どもを思って泣けるって、素敵じゃない？」
「子どもってさ、風に吹かれて歌ってるようなものよ。」

💡 名言 & 😊 迷言集

- 💡名言：「"わかってるつもり"が子どもを一番傷つけるのよね...」
- 💬注釈：親の経験や常識が子どもの気持ちの邪魔をすることへの気づき。
- 💡名言："ちゃんとしなきゃ"って誰が決めたの？子どもも、大人も、
もっと"ヘタでもいい"じゃない。
- 💬注釈：完璧を求めすぎる社会に対する優しいアンチテーゼ。

😊迷言：「うちの子、ランドセルよりママのメンタルのが重いって言ったわ。」

💬注釈：子どもを心配するあまりに母の気持ちが子どもの重荷に...

😊迷言：「"ママ大丈夫？"って聞かれた時点で、大丈夫じゃないのよ。」

💬注釈：子どもの察しが、母の強がり優しく打ち抜く瞬間。